

町田市文化プログラム実行計画 (素案)

町田市

目 次

第1章 目的と背景	
1. 実行計画策定の目的	1
2. 町田市文化プログラム推進計画	2
(1) 計画期間	2
(2) 将来像	2
(3) 文化プログラムの全体像	3
第2章 町田市文化プログラムの考え方	4
1. 町田市文化プログラムの枠組み	4
(1) 事業の区分	4
(2) 東京 2020 参画プログラムへの参画	5
(3) 実施目標	5
2. 各事業の展開	6
3. 市民による企画提案の促進	12
(1) 市民企画公募	12
(2) 市民による企画提案への支援の仕組み	13
4. 広報戦略	14
(1) ターゲットの考え方	14
(2) 広報ツール	14
(3) 各広報ツールの概要	16
第3章 今後の推進方針	18
1. 実施スケジュール	18

第1章 目的と背景

1. 実行計画策定の目的

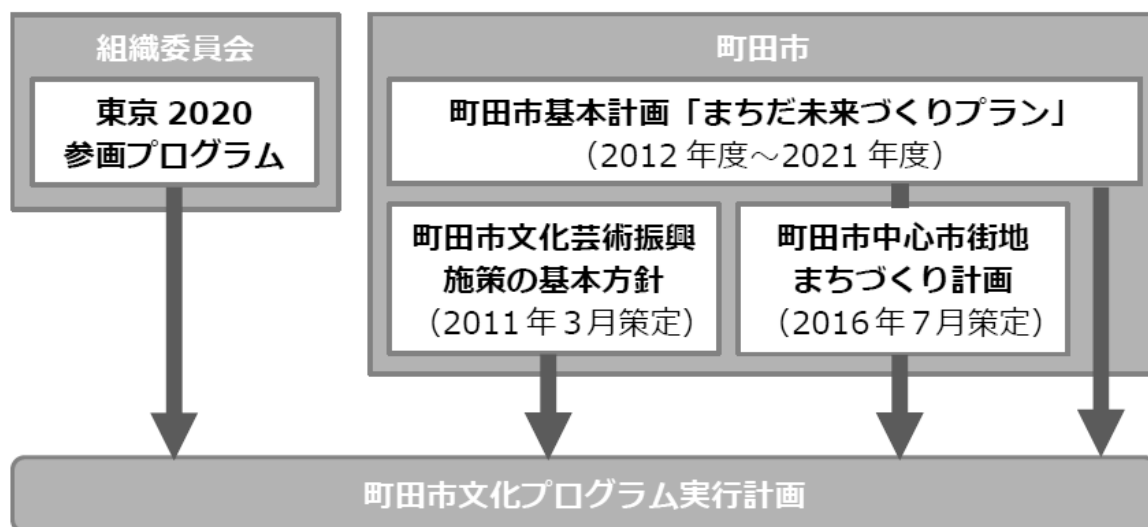
町田市は、2020年に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を、町田市が文化面において大きく成長する機会と捉え、文化の振興に取り組みます。

オリンピック・パラリンピック競技大会は、スポーツの祭典のみならず、文化の祭典としても位置付けられています。公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下、「組織委員会」とする。）は、スポーツ以外も含めた様々な分野でレガシー[※]を残す大会を目指して、多くの人が参加し、その成果を未来に継承する文化芸術に関わるイベントや事業（文化プログラム）を展開することを計画しています。

町田市もこれを機に、文化を通してより豊かなまちへと成長することを目指します。この町田市文化プログラム推進計画は、文化資源や地域文化の振興に対する市民の機運を高め、町田市の文化の振興を図るための基本的な考え方となるものです。今後は、この計画に基づき、市民、文化団体と協働し、町田市文化プログラムを推進してまいります。

本実行計画は、町田市文化プログラム推進計画に基づき、町田市文化プログラムを計画的かつ具体的に実施するために策定するものです。

※レガシー：「長期にわたる、特にポジティブな影響」（IOC）
オリンピック開催都市において、オリンピックを契機に社会に生み出される持続的な効果。例えば、施設やインフラ整備、スポーツ振興、生活の利便性の向上等。



2. 町田市文化プログラム推進計画

町田市は、二・六の市からはじまり、江戸末期には“絹の道”の中継点として商業のまちとして栄えてきました。戦後は、東京のベッドタウンとして多くの人にとって生活のまちとなるとともに、周辺からも多くの人を訪れるまちとして発展を続けてきました。

こうした歴史や地域特性とともに醸成された町田市の文化をさらに振興するとともに、町田市らしい個性にあふれる都市として将来に向けて発展するための施策として、文化プログラムを位置付けます。

(1) 計画期間

町田市文化プログラムは2017年度から2020年度までの4年間を計画期間とし、2020年度以降にもレガシーとして残る取り組みを展開します。

(2) 将来像

町田市文化プログラムをとおして、以下の将来像を目指します。

いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまち

【町田市文化プログラムの対象分野】

町田市文化プログラムでは、「文化芸術振興基本法」^{※1}の対象分野に加え、工芸やデザイン等、人々の暮らしに密着した創造的な分野を含めた、幅広い文化芸術を対象とします。さらに、「町田市に関わる歴史と生活」や「新しく多様な取り組み」も対象とし、より多くの市民の参画を目指します。

○町田市に関わる歴史と生活

○芸術・芸能

文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踏、メディア芸術、伝統芸能、芸能 等

○新しく多様な取り組み

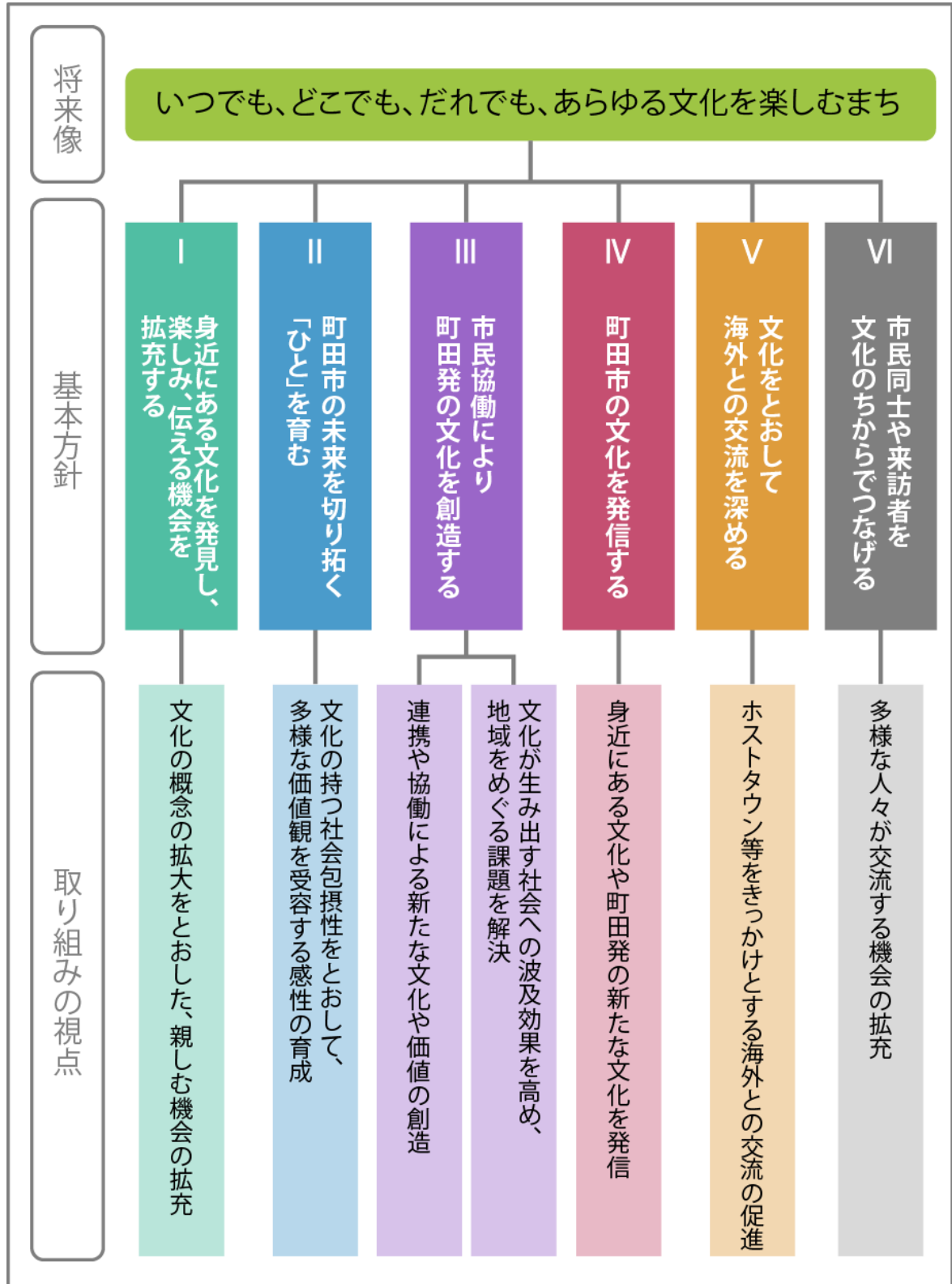
ストリートカルチャー（ダンス、パフォーマンス、大道芸、パレード等）、
コミュニティアート^{※2} 等

※1 文化芸術振興基本法：文化芸術の振興に関する基本理念を定め、国と地方自治体の責務を明らかにした法律。文化芸術に関する活動を行うものの自主的な活動の促進を目指す。平成13年12月施行。

※2 コミュニティアート：アートを媒介としてコミュニティの課題を解決する活動。

(3) 文化プログラムの全体像

2020年以降を見据えた将来像の実現に向け、下記に示す基本方針、取り組みの視点に基づき展開します。



※ホストタウン：東京 2020 大会の開催に向け、大会参加国や地域との相互交流を図る地方公共団体のこと。町田市は南アフリカ共和国のホストタウンとして、交流イベントの開催や代表選手団の事前キャンプ地誘致に取り組む。

第2章 町田市文化プログラムの考え方

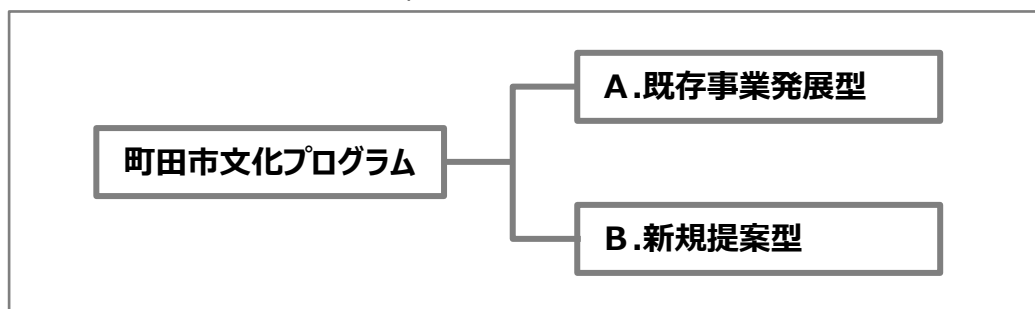
1. 町田市文化プログラムの枠組み

町田市文化プログラムでは、地域の文化や芸術にまつわる資源を掘り起し、発展させることで、地域活力の創出を目指します。

(1) 事業の区分

これまで市内で取り組まれてきた文化芸術活動を発展的に活用する「A. 既存事業発展型」と、東京2020文化オリンピックをきっかけとして新たに取り組まれる「B. 新規提案型」とを設定します。より多くの市民が主体的に参加できる仕組みとすることで、2020年以降の町田市が持続的・発展的に、文化芸術を生かした魅力を創造し、発信しつづける基盤づくりを目指します。「A. 既存事業発展型」と「B. 新規提案型」のそれぞれで、市民や町田市による事業を行い、市民協働で町田市文化プログラムを展開します。なお、それぞれの事業は、以下のように区分されます。

■ 町田市文化プログラムの事業区分



A. 既存事業発展型：町田市内で行われてきた事業を対象とし、町田市文化プログラムの基本方針や取り組みの視点を踏まえた新しい取り組みを付加した発展的な事業。

B. 新規提案型：多様な視点により、幅広く展開される事業。

(2) 東京 2020 参画プログラムへの参画

町田市文化プログラムでは、東京 2020 大会や東京 2020 文化オリンピックの盛り上がりにも寄与するとともに、様々な取り組みを市内外に効果的に発信するため、東京 2020 参画プログラムへの参画も目指します。組織委員会が定める審査基準を満たす事業については、積極的な申請を図ります。東京 2020 参画プログラムは、実施主体により「公認プログラム」と「応援プログラム」とに分けられており、町田市主催事業は「東京 2020 公認文化オリンピック」、それ以外は「東京 2020 応援文化オリンピック」として認証され、それぞれの認証マークの使用が認められます。

その他の認証制度として、内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局等が進める、「beyond2020 プログラム」があります。町田市文化プログラムでは、各認証制度の枠組みにはおさまらない市民による事業についても対象とし、幅広く展開します。

■ 認証区分

	主催者	認証区分
A.既存事業発展型	市民	・町田市文化プログラム ・東京 2020 応援文化オリンピック ・その他
	市	・町田市文化プログラム ・東京 2020 公認文化オリンピック ・その他
B.新規提案型	市民	・町田市文化プログラム ・東京 2020 応援文化オリンピック ・その他
	市	・町田市文化プログラム ・東京 2020 公認文化オリンピック ・その他

(3) 実施目標

2018 年度に 30 件、2019 年度に 70 件、2020 年度は東京 2020 大会の大会期間である 9 月までをめぐり 50 件の実施を目標とします。

2. 各事業の展開

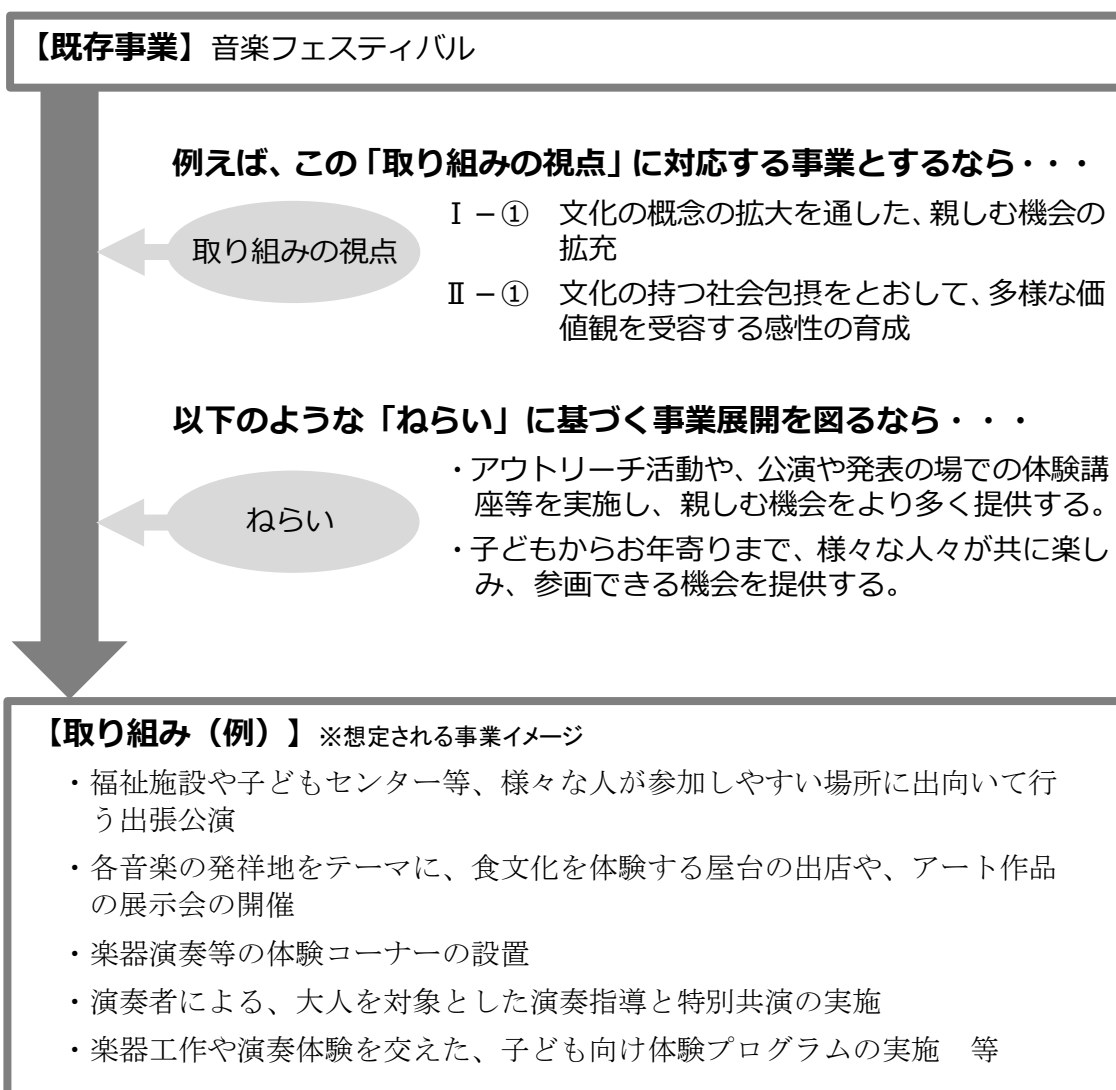
町田市文化プログラムにおける「取り組みの視点」を取り入れ、新たな事業を立案するための組み立て方を、既に実施している事業や、今後展開が予想される事業等を事例として紹介します。

A. 既存事業発展型

A-1. 民間既存事業

市民等が取り組んできた事業を対象とする、発展的な取り組みとしては、以下のような展開が考えられます。

■ 具体例①



■ 具体例②

【既存事業】 伝統芸能・郷土芸能まつり

例えば、この「取り組みの視点」に対応する事業とするなら・・・

取り組みの視点

- Ⅲ－① 連携や協働による新たな文化や価値の創造
- Ⅳ－① 身近にある文化や町田発の新たな文化を発信

以下のような「ねらい」に基づく事業展開を図るなら・・・

ねらい

- ・学生やボランティア団体との協働により、新たな魅力を創造する。
- ・活動の資源化と、町田市の文化に関する発信力を拡充する。

【取り組み（例）】 ※想定される事業イメージ

- ・外国語ボランティアによる外国語解説の作成
- ・外国人向け体験コーナーの設置
- ・伝統芸能、郷土芸能の記録映像作成
- ・動画配信サービスを活用した映像配信 等

■ 具体例③

【既存事業】 映画祭

例えば、この「取り組みの視点」に対応する事業とするなら・・・

取り組みの視点

- Ⅲ－① 連携や協働による新たな文化や価値の創造
- Ⅵ－① 多様な人々が交流する機会の拡充

以下のような「ねらい」に基づく事業展開を図るなら・・・

ねらい

- ・交流する機会の少ない人同士が、交流や協働する新たな機会を提供する。
- ・交流や協働を通して、互いの価値観を拓ける機会を提供する。

【取り組み（例）】 ※想定される事業イメージ

- ・学生と文化団体の協働による映像作品の制作
- ・市内の文化芸術をテーマとした映像作品のコンテスト
- ・公園等を利用した屋外上映会の開催 等

A-2. 町田市既存事業

町田市が主催する事業を対象とする、発展的な取り組みとしては、以下のような展開が考えられます。

■具体例①

【既存事業】 町田市立国際版画美術館の企画展示事業

例えば、この「取り組みの視点」に対応する事業とするなら・・・

取り組みの視点

- I-① 文化の概念の拡大を通じた、親しむ機会の拡充
- VI-① 多様な人々が交流する機会の拡充

以下のような「ねらい」に基づく事業展開を図るなら・・・

ねらい

- ・スポーツとアート等、異なる分野が連携し、新たな視点を通じた親しみを提供する。
- ・市民とアーティスト等が交流し、新しい価値観との出会いを提供する。

【取り組み（例）】 ※実施済み事業

『インプリントまちだ展 2017

絵描き・ながさわたかひろ、サッカー・FC町田ゼルビアでブレイク刷ルー！』

会期：2017年7月29日（土）～ 9月24日（日）

会場：町田市立国際版画美術館

主催：町田市立国際版画美術館

町田市ゆかりのスポーツチームとの協働による作品の制作と公開を通じた市民交流を目指す企画展示事業。

サッカー・FC町田ゼルビアの試合に通り、選手たちと交流しながらその活躍を作品に落とし込んで展示。また、展示会場で来館者を描いて銅版におこしプレゼントするイベント等も実施。

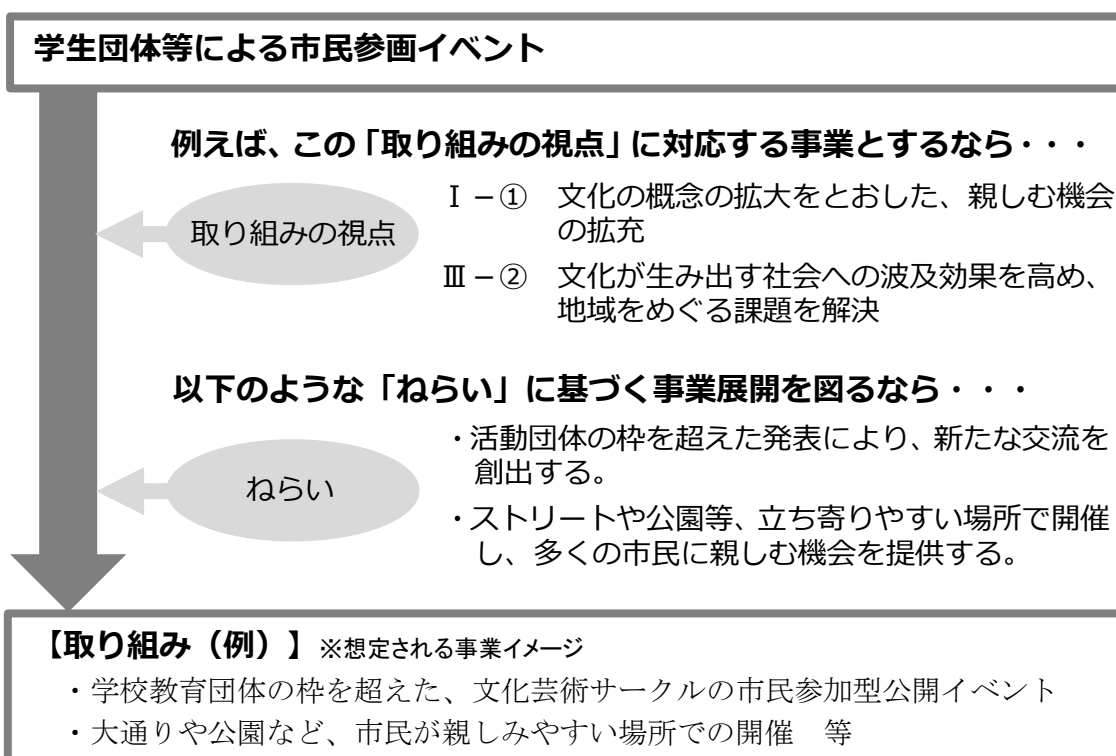


B. 新規提案型

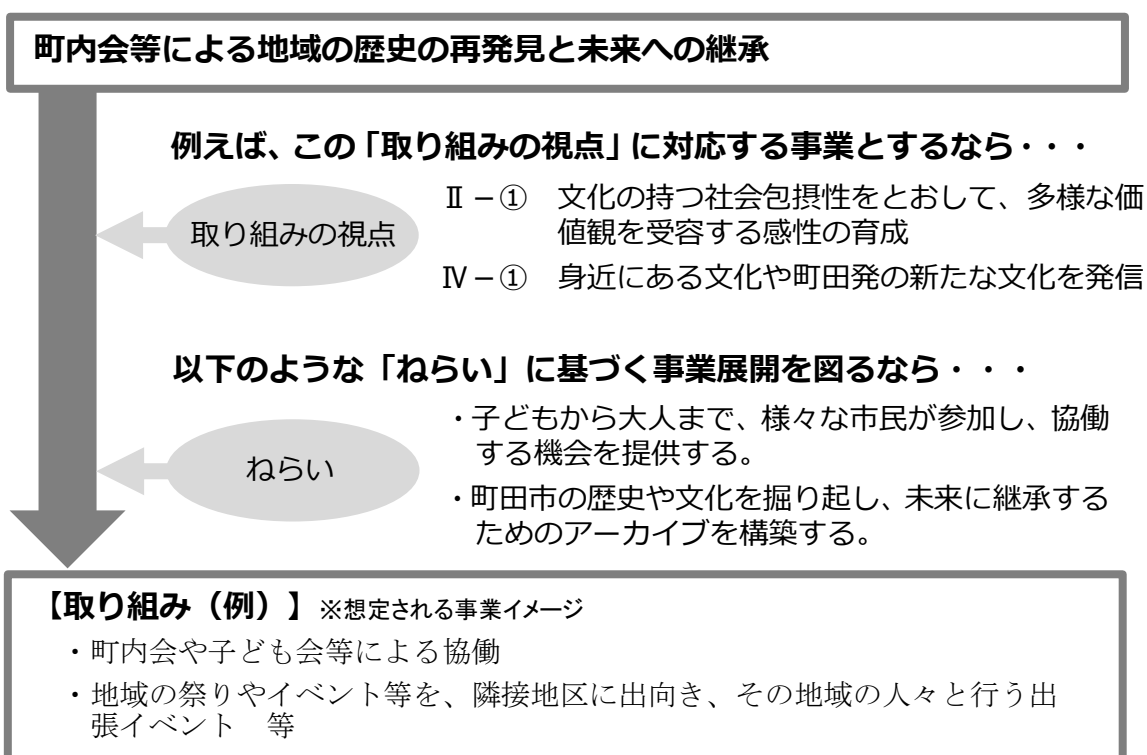
B-1. 市民企画提案事業

市民等の多様な視点による取り組みは、以下のような展開が考えられます。

■具体例①



■具体例②



■ 具体例③

商店街等によるホストタウン事業と連携した国際交流

例えば、この「取り組みの視点」に対応する事業とするなら・・・

取り組みの視点

- Ⅲ－① 連携や協働による新たな文化や価値の創造
- Ⅴ－① ホストタウン等をきっかけとする海外との交流の促進
- Ⅵ－① 多様な人々が交流する機会の拡充

以下のような「ねらい」に基づく事業展開を図るなら・・・

ねらい

- ・商店街や地域の市民活動が連携し、通りや屋外等で多様な人々が親しむ場を提供する。
- ・市内在住の外国人や留学生と連携し、各国の文化を体験する機会を提供する。

【取り組み（例）】 ※想定される事業イメージ

- ・商店街や大通りを活用した屋台イベント
- ・市内在住者や留学生との交流イベント
- ・南アフリカ共和国の郷土料理や伝統芸能の体験イベントや、アーティストの作品展示 等

■ 具体例④

障がい者支援施設等による新しい視点の創出

例えば、この「取り組みの視点」に対応する事業とするなら・・・

取り組みの視点

- Ⅱ－① 文化の持つ社会包摂性をとおして、多様な価値観を受容する感性の育成
- Ⅲ－② 文化が生み出す社会への波及効果を高め、地

以下のような「ねらい」に基づく事業展開を図るなら・・・

ねらい

- ・障がい者支援施設と文化団体との連携により、新たな視点による価値拡大の機会を提供する。
- ・人々の交流を通して、より豊かな文化的取り組みの創出を目指す。

【取り組み（例）】 ※想定される事業イメージ

- ・障がい者支援施設と文化団体との協働による作品制作
- ・取り組みを紹介する公開イベントの開催 等

B-2. 市民協働事業

市民と町田市の協働による新たな取り組みとしては、以下のような展開が考えられます。

■具体例①

写真をテーマにした大規模な市民参画イベント

例えば、この「取り組みの視点」に対応する事業とするなら・・・

取り組みの視点

- I-① 文化の概念の拡大をとおした、親しむ機会の拡充
- II-① 文化の持つ社会包摂性をとおして、多様な価値観を受容する感性の育成
- III-① 連携や協働による新たな文化や価値の創造
- IV-① 身近にある文化や町田発の新たな文化を発信

以下のような「ねらい」に基づく事業展開を図るなら・・・

ねらい

- ・市民団体との協働により、一人でも多くの市民が参加する機会を提供する。
- ・子どもたちの積極的な参加を促すことにより、アートへの関心や郷土への愛着を創出する機会を提供する。
- ・学校教育機関や市民団体等の連携により、地域の活力を創出する組織のづくりを目指す。

【取り組み（例）】 ※想定される事業イメージ

- ・スポーツを題材とした写真作品の募集と公開。
- ・昔の町田に関する写真の募集と公開。
- ・文化団体や学校教育機関との協働による、撮影会の開催。
- ・町田に集う人々を被写体とした写真作品の募集と公開。 等

3. 市民による企画提案の促進

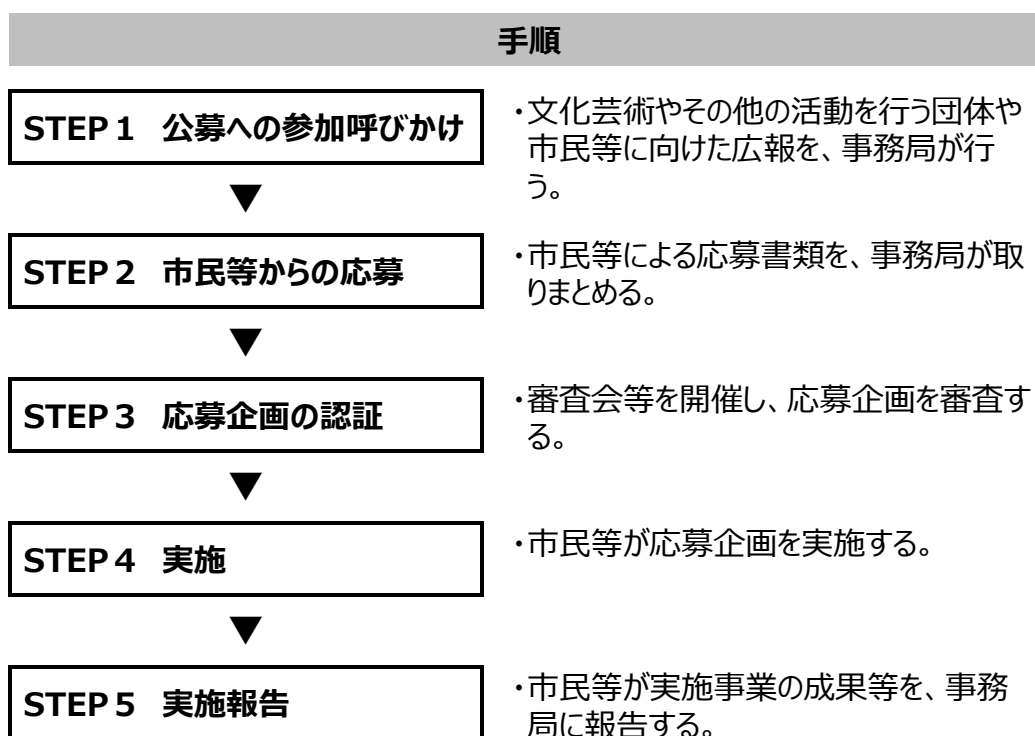
町田市文化プログラムが目指す将来像「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまち」の実現には、市民協働による展開が不可欠です。

そこで、市民等から広く文化プログラムの企画提案を募るとともに、市民協働による町田市文化プログラムの盛り上がりの醸成を目指します。町田市文化プログラムの枠組みのうち、市民等が主催する「A-1. 民間既存事業」と「B-1. 市民企画提案型事業」について以下のように促進し、市民等の積極的な参画と、それによるレガシーの創出を図ります。

(1) 市民企画公募

①公募の仕組み

市民等の企画提案は以下の手順で推進します。



②インセンティブ

町田市文化プログラムへの企画提案促進を図るための動機づけとして、各認証事業に対して以下のインセンティブを提供します。

- ・市ホームページ上で認証事業の開催情報を発信する。
- ・各実施主体が作成するポスター、チラシ等で「町田市文化プログラム」の名称を使用できるものとする。

なお、認証を受けた多様な事業を、町田市文化プログラムとして一体的に発信することで、市民はもちろん、市外の人々にも町田市の新たな魅力として強く印象づけることを目指します。

(2) 市民による企画提案への支援の仕組み

①専門的な人材やボランティア等の紹介

文化プログラムの企画や実施に関する専門的な知見を持った人材や、運営支援に関わるボランティア等を紹介します。町田市文化プログラムをきっかけとした新たな交流創出の支援を行い、市民による文化芸術活動の振興を図ります。

②施設利用に関する案内

町田市の貸し出し施設等に関する案内を行います。利用可能な施設や、利用のための申請方法を紹介し、市民等が新たな文化芸術活動を展開しやすい環境を整えます。

③民間の助成事業に関する案内

民間の助成事業に関する案内を行います。補助金等を活用し、市民等が主体的に文化芸術活動に取り組める環境を提供します。

4. 広報戦略

市民企画公募への参加を呼び掛けるために、町田市の広報ツールを効果的に活用した広報活動を展開します。

(1) ターゲットの考え方

効果的な情報発信を行うための発信方法を考慮し、ターゲットを「A. 市が把握している団体等」、「B. 市が把握していない団体等」、「C. その他の市民等」に区分します。

A.市が把握している団体等：市内に拠点がある、もしくは市内を中心に活動を展開している文化芸術団体や、商工会議所、商店街、自治会、大学等のうち、市が所在地や代表者等を把握している団体を指します。

B.市が把握していない団体等：市内に拠点を置き、活動を行っている文化芸術団体や、その他の団体、さらには個人で活動を行っているアーティスト等で、市が所在地や代表者等を把握していない団体及び個人を指します。

C.その他の市民等：東京 2020 文化オリンピックや町田市文化プログラムをきっかけに、新たに文化芸術活動等に取り組む市民や団体等を指します。

(2) 広報ツール

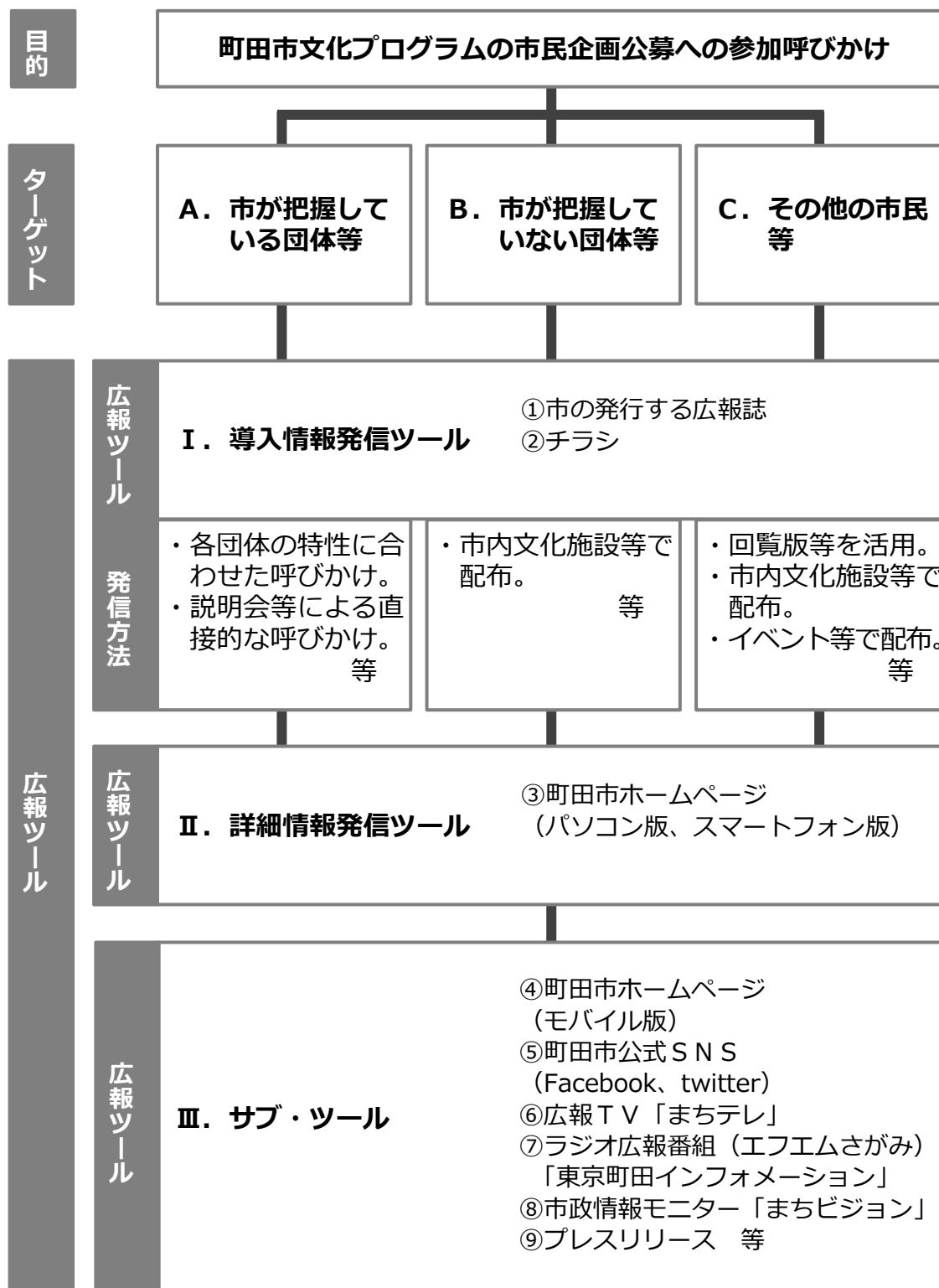
各広報ツールの特性を効果的に活用するために、「Ⅰ. 導入情報発信ツール」、「Ⅱ. 詳細情報発信ツール」、「Ⅲ. サブ・ツール」を設定します。

Ⅰ.導入情報発信ツール：市の発行する広報誌やチラシといった市民の認知度が高く、親しみやすいツールを活用し、町田市文化プログラムの趣旨や目的を各ターゲットに確実に周知することを目指します。また、「Ⅱ. 詳細情報発信ツール」への誘導を図ります。

Ⅱ.詳細情報発信ツール：市のホームページを活用し、応募に必要な詳細情報等を提供し、より多くの市民が企画提案しやすい環境を備えます。

Ⅲ.サブ・ツール：「Ⅰ. 導入情報発信ツール」に加えて、市の多様な広報ツールを積極的に活用し、より多くの市民へ情報を発信します。また、「Ⅱ. 詳細情報発信ツール」への誘導を図ります。

■ 広報展開フロー図



(3) 各広報ツールの概要

I. 導入情報発信ツール [市の発行する広報誌とチラシ]

町田市文化プログラムの概要や市民企画公募の案内、「II. 詳細情報発信ツール」となる市ホームページの案内等を掲載します。

市の発行する広報誌では紙面の大きさを活かして、事例の紹介や東京2020 参画プログラムの認証申請に関する情報も掲載します。

■掲載情報イメージ

		市の発行する広報誌 * タブロイド判 (縦406mm×横272mm) * カラー2面印刷	市の発行するチラシ * A 4判 (縦297mm×横210mm) * カラー2面印刷
掲載情報	a. 町田市文化プログラムの概要	○	○
	b. 市民企画公募の案内	○	○
	c. 市ホームページの案内	○	○
	d. 事例の紹介	○	—
	e. 東京2020参画プログラムの認証申請の案内	○	—

■市の発行する広報誌の掲載情報イメージ

a. 町田市文化プログラムの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的 ・展開例
b. 市民企画公募の案内	<ul style="list-style-type: none"> ・インセンティブ ・認定基準、応募要件(参加資格等) ・募集期間、応募方法(申請窓口や手順等) ・問合せ窓口の案内
c. 市ホームページの案内	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細情報の掲載案内
d. 事例の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年度文化プログラムの紹介
e. 東京2020参画プログラムの認証申請の案内	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020参画プログラムの紹介 ・認証申請に向けた取り組みの案内

II.詳細情報発信ツール [町田市ホームページ]

応募に必要な詳細情報の提供や、町田市文化プログラムの最新の詳細情報の発信を行います。

トップページのバナー等を効果的に活用し、町田市文化プログラムのページへの誘導を図ります。

■町田市ホームページの掲載情報イメージ

A. 町田市文化プログラムの概要

- ・キャッチコピー
- ・事業目的
- ・最新情報

B. 市民企画公募の案内

- ・認定基準の説明
- ・応募要件(参加資格等)
- ・募集期間
- ・応募方法(申請窓口や手順等)
- ・応募書類フォーマット
- ・インセンティブの紹介
- ・問合せ窓口の案内

C. 東京2020参画プログラムの 認定申請の案内

- ・東京2020参画プログラムの紹介

D. 各事業の紹介

- ・認定事業一覧



※市ホームページのトップページ

第3章 今後の推進方針

1. 実施スケジュール

町田市文化プログラムは、市制 60 周年を機に行われる『まちだ^{まる}○まるごと大作戦 18-20』や、ラグビーワールドカップ 2019 の機会を生かしながら、市民が主役となる展開をめざします。

